

情報公開文書

研究の名称	骨格性下顎前突症患者における Le Fort I 型上顎骨切り術追加に関連するセファログラム分析項目の傾向スコアマッチングによる後ろ向きパイロット研究
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	歯科口腔外科・三浦 桂一郎
研究の概要	<p>【研究対象者】 2004年8月から2025年4月までに、富山大学で顎変形症に対する外科的矯正治療を受けた患者さんのうち、診療録とレントゲン写真(セファログラム)が保存されている方が対象です。</p> <p>【研究の目的・意義】 この研究では、「1-jaw 手術(下顎の手術のみ)」と「2-jaw 手術(上下のあごの手術)」のいずれが選択されるかに関連する骨格的な特徴を調べます。これまで術式の選択は主に術者の経験や施設の方針に依存していましたが、本研究はその判断に関与する客観的な骨格的因子を明らかにし、診断・治療計画の段階でより標準化された意思決定を支援するための基礎的知見を提供することを目的としています。本研究は、術式決定における診断精度の向上を目指した研究です。</p> <p>【研究の方法】 診療のために過去に撮影されたレントゲン写真(セファログラム)や、診療録に記録された情報を使って分析を行います。新たな検査や通院などは必要なく、患者さんに新たな負担はかかりません。なお、患者さんの個人情報情報は匿名化され、外部からはわからないように厳重に管理します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2030年3月31日</p> <p>【利益相反の状況】 この研究にあたって、企業などからの資金提供は受けておらず、研究に関する利益相反は一切ありません。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 研究の成果は、学会や専門の医学雑誌などで公表される予定です。公表される情報には、患者さん個人が特定されるような情報は一切含まれませんのでご安心ください。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>この研究では、過去に診療の一環として撮影されたレントゲン写真(セファログラム)や診療記録の一部(年齢、性別、診断や手術の内容など)を使います。これらの情報は、手術方法の違いと骨格の特徴の関係を調べるために利用されます。</p> <p>患者さんの名前や住所など、個人が特定される情報は研究には使用せず、すべて個人を識別できないように加工されます。</p> <p>また、この研究で使う情報は富山大学の中だけで利用され、外部の機関や団体に提供することはありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
研究資料の開示	研究対象者等(研究対象者および親族等関係者)のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究代表機関における研究責任者の所)	富山大学 学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 講師 三浦桂一郎

属・氏名)	
研究対象者等(研究対象者および親族等関係者)からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7383 FAX 076-434-5041 E-mail kmiura@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 歯科口腔外科・三浦 桂一郎